

2019年11月1日

各 位

会 社 名 株式会社新東京グループ
(コード番号 6066 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 吉野勝秀
問合せ先 取締役管理部長 小野澤歩
T E L 047-383-7001
U R L www.mr-shintokyo.co.jp

子会社(資産保有会社)の設立に関するお知らせ

当社は本日、環境関連施設の保有を目的とした当社100%出資の連結子会社を下記のとおり設立いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 子会社設立の目的

当社グループは、かねてより資源循環型社会の実現に向け環境再生事業を推進しておりますが、現在当社の主力事業である環境事業に関するプラント施設は事業会社各社の資産として分散管理されております。

そのような中、2019年6月12日付け当社発表「再生支援に関するスポンサー契約締結のお知らせ」にあるように株式会社グリーンシステムズの民事再生支援を実施しており、また2019年6月12日付け当社公表「当社子会社による再生支援に関する事業譲渡契約締結のお知らせ」にあるように全建設共同事業組合から事業を譲り受けるなど事業領域を順調に拡大しております。

また、2019年6月12日付け当社公表「固定資産の取得に関するお知らせ」にあるように汚泥土壌の再生プラントを取得するなど、将来の事業の拡張に向けても積極的に準備をしており、今後もさらに経営資源のコアである環境施設に関連する固定資産の増加が見込まれます。

このような状況の中、将来的に資産を集中して運用管理する部門が必要であると考え、今回これを事業目的とした新会社を設立した次第です。

2. 子会社設立の背景

現在、日本は年々環境問題が深刻化しております。地球温暖化など環境の変化に伴う度重なる大規模災害の発生、恒常的な異常気象に起因する被害発生など、環境リスクは日々増大しています。

このような状況の中、環境事業者に対しては復興支援オペレーションの多様化、かつ迅速化が求められております。しかしながら、環境事業を行う許可と資産は不可分のものであり、新たな枠組みを構成するためには固定資産の保有が重荷となっております。

また国際的な環境意識が高まっている中、環境事業に強い関心をもつ次世代の人たちも増加しております。このような環境事業の次世代の担い手にとっては、設備投資の大きさが参入障壁となっております。

今回設立した環境関連施設の保有運営会社は、このようなスタートアップ事業者を資産保有という面で支援することができますし、同様に後継者問題等を抱える企業のパートナーとなることで、次世代へのバトンタッチをスムーズに行うことができます。環境事業の従来産業資産を維持しつつ、新たな次世代を誘引することで、業界全体の裾野の拡大に向けた支援を行なっていきたいと考えております。

名称につきましては、当社グループのキャッチコピーでもあります『新東京MIRAI2020』に合わせ、「シントウキョウ=未来」、「グロース=成長・発展」をキーワードとして取り入れることで事業の将来への想いを込めております。

単純な資産の保有と運用管理を目的とするだけでなく、資金調達の多様化、そして環境事業とFintechの融合を目指した活動も視野に入れていく方針です。

3. 設立子会社の概要

- | | |
|---------------|---|
| (1) 名称 | 株式会社シントウキョウグロースキャピタル |
| (2) 所在地 | 東京都中央区銀座2丁目7番7号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 山科 豊弘 |
| (4) 事業内要 | 資産の管理及び運用、資産の流動化並びに資産への投資に関する
コンサルティング業務 |
| (5) 資本金 | 1,000万円 |
| (6) 設立年月日 | 2019年11月1日 |
| (7) 大株主及び持株比率 | 株式会社新東京グループ 100.0% |

4. 今後の業績に与える影響

当期(2020年5月期)業績に与える影響は只今精査中です。確定次第速やかに開示する予定です。

以上

(参 考)

新会社設立時に就任の代表取締役社長の略歴

氏 名 山 科 豊 弘 (やましな とよひろ)
生年月日 1968年10月8日 (51歳)
出 身 地 山形県庄内町
略 歴 1987年4月 日立電子サービス株式会社 入社
1995年10月 オリент信販株式会社(ユニマツグループ) 事業者金融事業部統括部長
2004年6月 株式会社オリカキャピタル(ユニマツグループ) 取締役営業統括部長
2008年2月 日本アジア・アセットソリューション株式会社 代表取締役
2009年8月 株式会社ページワン・ネオ・バンク 代表取締役(現任)